



Subaru

男声合唱団

ニュース№718

'19. 12. 12

「昂」京都祭典・合唱発表会「日々草」「朝露」の「講評」届く！

講評者名	日々草	朝露	全体評	評点
A	男声合唱の醍醐味を感じさせてくれる好演奏です。ただ、これだけの人数がいるので、mp. F のダイナミクスレンジをもっと広げて表現されるとさらに深い表現力に！！	卒のないステキな演奏なのですが、これだけの人数と実力がある男声合唱団だけに、もう少し難曲にも挑戦できると思います。	記載無し	8.9
B	緻密に仕上げられたいた事(ママ)に感服しました。言葉の表現よく伝わりました。	大編成ゆえの足取りが感があり(ママ)重厚さがある合唱でした。	記載無し	9.5
C	バランスのとてもよくとれた男声合唱。であるからこそ、Ten.の A の音がもう少し出てくると、男声合唱としてのレンジの広がりが、強い説得力をもたらすと思う。	声部のバランスがとても良く、かつ厚みのある響きがあふれていて、とてもいい。	記載無し	8.8
D	とてもていねいに歌をつくれていてよかったです。音(フレーズ)の終わりの和音がくずれるときがあり、惜しいと思いました。	高音のときにハーモニーがくずれていきました。	記載無し	8.3
E	優しいことばづかい、うれしいです。でも、ことばの音ちあがり(子音 etc.)クリアにほしいかナ、takusan heibon	語り感がもっと見えて・・・メロディーの流れ美しいです。ラスト F の Ah 強く、柔らかい音がいいです。Bass、少々硬いか！	赤い色は強いですね きれいです。	7.8
F	歌い出しからはつきりと K 表情豊かな表現です。少しおさえた悲しみが感じられます。ことばごとの明るさと悲しさの対比がもう少し歌えたらと思います。Fでもがんばりすぎないところは好きです。	ユニゾン よくそろっています。Div. m もスムーズです。男声合唱の美しさ、幅広さを存分に楽しみました。よくそろったハーモニーです。	記載無し	9.0
G	安定した合唱 よくうたっています。すばらしい。	うた心がありますね 美しい演奏です。	・2 曲とも似ている曲想ですね。メロディー美しい曲が得意合唱団・衣装 good!	9.4

		平均点	8.814
--	--	-----	-------

(注:) 「日本のうたごえ祭典・京都」の合唱発表会「一般のB」「昴」の2曲の講評が発表されました。伊藤さんにお手数をおかけし、表にしていただきました。転載します。

なお、講評者は以下の通りですが、表には名前を伏せました。(編集者)

(日本のうたごえ協議会HP掲載の講評集から、転載し、まとめてみました。(伊藤)

(一般の部B)講評者の先生方

- ・田中嘉治(日本のうたごえ協議会会長)
- ・石垣潔(合唱団ハモーる指揮者)
- ・小村公次(音楽評論家)
- ・川辺甲子朗(合唱指揮者)
- ・鈴木捺香子(声楽家)
- ・難波洋子(声楽家)
- ・新美佳三(つなごういのち守る合唱団・マ・モルテ指揮者)

連絡・報告事項

(1) 12月15日(日) 14:00~15:30 ねむかホールにて、

大阪のうたごえ祭典(2020年2月23日)の合同・公開練習日

「シャハンバ」のレッスンを開催します。「昴」定例レッスン日です。レッスンの前半を合同レッスンに当てます。)楽譜を忘れないこと。

(2) 15日(日)定例レッスン終了(17:00)後、昴の京都祭典合唱発表会の健闘を祝して、「祝勝会」を行います。参加できる方はお集まりください。 於:興隆園

(投稿)

コール・セコインデのリサイタルを聞いて

向井勝弘(BR)

先日、門先生のご紹介で、レッスン指導して頂いた、恵谷先生の所属されている男声合唱団「コール・セコインデ」のリサイタルに行ってきました。

コール・セコインデは1981年に、関西学院大学グリークラブOBが主体となって結成され、結成当初は、コンクール主体で活動し、関西合唱コンクールで金賞を受賞する常連団体でしたが、近年はリサイタル主体で活動されているとのことでした。(隣席の元団員のコメント)

38年もの歴史のある男声合唱団で、団員は当団よりも少し少ない30名ほどでした。(平均年齢は50代後半かな?)

まず、オープニングで、9月に逝去された団員への追悼曲を披露され、その後、全26曲を、アカペラで、ほとんど暗譜で演奏されました。途中のクリスマスソングでは、各人がクリスマスの衣装に着替え、表情豊かに合唱するなど、工夫を凝らせたところが印象的でした。

先日のレッスンでも指導いただいた、「音質」には格の違いを感じ、男声合唱団で求められる、バス・バリトンの声の響きには魅了され、二時間半の演奏時間が短く感しました。終了後のアンコールのあと、全員玄関にて、帰るお客様を、ロビーコールで送るなど、心温まる演出がされていました。

これぞ、どこでも歌える、アカペラの強みだと感じた、本当にすばらしいリサイタルで、大変勉強になりました。

来年も、是非参加したいと思っています。(2020年12月13日(日)に予定されています。)

(投稿) 関学OB恵谷さんの「コール・セコインデ」リサイタルを聞いて

千秋昌弘

立川さん、向井さん、千秋がそれぞれバラバラに関学中央講堂に行った。
千秋の感想

先ず、舞台にピアノがない。最初から最後までアカペラだ。

約30人の男声が出てきた。恵谷さんが57歳だと言っていたから、その年代の人が多かったと思う。

